

## [3] 日南市小体連

### I 年間事業

期 日	曜	事 業 名	主 な 内 容	会 場
5月31日	金	第1回理事会	役員選出、年間計画の確認 水泳記録会実施計画案の検討	吾田小学校
7月8～19日			水泳記録会	各小学校
7月23日	火	第2回理事会	水泳記録会記録整理	吾田小学校
8月30日	金	第3回理事会	陸上記録会計画案検討	吾田小学校
～11月22日			陸上記録会	各小学校
11月25日	月	第4回理事会	陸上記録会記録整理	吾田小学校
2月25日	火	第5回理事会	研究紀要作成 年間反省	吾田小学校

### II 事業部のあゆみ

#### 1 水泳記録会

- (1) 大会名 日南市小学校水泳記録会
- (2) 実施日 令和元年7月8日(月)～7月19日(金)で1回記録を測定する。  
※この期間の最高記録ではない。
- (3) 会場 日南市各小学校
- (4) 出場者 日南市内各小学校5・6年生代表児童(小規模校は4年生も可)
- (5) 実施種目 ・25m自由形 ・50m自由形  
・25m平泳ぎ ・50m平泳ぎ ・100mリレー
- (6) 競技方法 ・タイムレースとする  
・出場は一人2種目以内(ただし、リレーは除く)とする。リレーに出場する児童は最大3種目となる。  
・競技は原則として学年別、男女別とする。  
・自由形の泳法は、クロールとする。  
・百分の一以下は切り上げる。(例) 52秒31→52秒4  
・リレーのチーム編成については、小規模校に限り、異学年、男女混合でも可とする。ただし混合チームは男子チームとして、異学年チームは上の学年で出場する。  
・その他細部については、日南市小学校体育連盟による競技規則を適用する。  
・記録は部会別共有の「水泳記録集計(エクセルファイル:学校別)」に7月22日(月)までに打ち込む
- (7) 表彰
  - 上位5位までを入賞とし、日南市の記録として県に上げる。
  - 参加児童すべてに記録証を渡す。
- (8) 反省
  - 猛暑による児童・保護者・理事等の負担を軽減するため、小体連全体で運営する水泳記録会は実施せず、各校実施とした。
  - できるだけ条件が合うよう、昨年度までの実施要項と事前の理事会における協議内容をもとに実施した。しかし、コースロープの有無等、条件の差が出てきた。
  - 授業の中で学年職員だけで記録を計測する学校、学期末整理期間を利用して6校時に計測会を設定し、全職員で実施する学校等、各校の状況に応じた実施方法で取り組むことができた。
  - 小規模校では職員数に限りがあるため、2人で計測することが難しかった。
  - 各校の状況に応じて取り組むことができたため、熱中症の心配もなく実施できた。

(9) その他

- 県小体連から出された「授業（水泳学習）を充実させることを第一に考え、その先に記録会を設定する」という考えに賛同する。次年度以降も授業の充実を第一に考えた水泳記録会のあり方について協議し、実施していきたい。

2 陸上記録会

- (1) 大会名 日南市小学校陸上教室
- (2) 期日 令和元年11月22日（金）までに記録をとり、11月25日（月）の理事会で認定を行う。
- (3) 会場 日南市各小学校及び種目に適した施設
- (4) 参加者 日南市内小学校6年生児童。学校規模により、5年生の参加を認める。ただし、リレーに参加する選手のトラック競技のみとする。
- (5) 種目
  - 種目
  - 100m走 50mハードル走 400mリレー
  - 持久走（女子800m、男子1000m）
  - 走り高跳び 走り幅跳びソフトボール投げ
- (6) 競技方法
  - 選手種目については、タイムレースとする。
  - 1人が出場できるのは、2種目＋リレーとする。
  - スパイクの使用は禁止する。
  - その他細部については、日南市小学校体育連盟による競技規則を適用する。
  - 100mの直線をとることができない施設では、カーブを用いて測定する。
  - 800m、1000m及び、400mリレーの距離を正確にとれない施設では、無理に記録を測定する必要はない。ただし、学習の一環として記録を測定することを勧める。
- (7) 表彰
  - 種目内上位6位までを入賞とし、日南市の記録として県に上げる。
  - 陸上記録会参加児童すべてに記録証を渡す。
- (8) 反省
  - 市内の運動会日程が10月下旬に変更になり、また、その後の陸上競技場が使用できない時期に入るため、日南市内の全学校が集まった陸上教室は実施せず、各校実施となった。
  - 運動場の広さの関係で100mの直線がとれない学校が多かったため、運動場のカーブを使用したり、運動会のコースを利用したりして対応した。
  - 運動場1周が200mで作られていない学校もあったため、同じ条件で記録測定をすることがなかなか難しかった。
  - 種目によっては（ボール投げ、走り高跳び、走り幅跳び）、体力テスト結果や授業の中で計測した記録を上げるなど、年間指導計画をもとに準備・実施した学校もある。
  - 複式学級を有する学校、小規模校では職員数に限りがあるため、記録向上や記録計測が難しい面もある。
  - 学校によって、計測するための用具が足りないこともあった。
- (9) その他
  - 年度当初から、どこで記録が測定できるか前もって計画しておくことで、記録会にかかる負担を減らすことができる。今年度中に年間指導計画を見直したり、教育課程に計画したりする等、準備をしておく必要がある。
  - 記録測定に必要な用具、器具等を小体連で購入したり、学校間で借用したりしながら実施する必要がある。各学校の用具器具の有無、数などを把握し、一覧にまとめて活用していきたい。